

平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震について

平成 20 年 06 月 14 日（20：10）現在
官 邸 対 策 室

1. 地震の概要（気象庁）

- (1) 発 生 日 時 平成 20 年 06 月 14 日 08 時 43 分頃
- (2) 震 央 地 名 岩手県内陸南部（北緯 39 度 01.7 分、東経 140 度 52.8 分）
- (3) 震源の深さ 8 km
- (4) 規 模 マグニチュード 7.2（推定）
- (5) 各地の震度（震度 5 強以上）
 - 震度 6 強 岩手県奥州市衣川区
宮城県栗原市一迫
 - 震度 6 弱 岩手県奥州市胆沢区
宮城県栗原市築館・高清水・金成等、大崎市古川三日町・鳴子等
 - 震度 5 強 岩手県北上市二子町、一関市山目、平泉町平泉、奥州市水沢区・江刺区・前沢区
宮城県涌谷町新町、栗原市若柳、登米市南方町、宮城美里町木間塚、大崎市松山、名取市増田、仙台市仙台宮城野区苦竹等、利府町利府
秋田県湯沢市川連町、東成瀬村椿川・田子内
- (6) 津 波 この地震による津波の心配なし
- (7) 余震情報（19:00 現在）
 - 震度 1 以上の余震 180 回
 - 最大余震 09：20、マグニチュード 5.6
- (8) 東北地方の気象の予想
 - 今夜（14 日）は、宮城県は晴れで夜遅くにくもりの見込み、秋田県、岩手県はくもりで、内陸で夜遅くまで雨の降るところがある見込み。
 - 明日（15 日）、宮城県は概ね晴れ、岩手県は晴れで朝夕くもり、秋田県はくもり、風は全般に弱い見込み。
 - 明後日（16 日）、岩手県、秋田県はくもり一時雨。

2. 被害状況（未確認情報を含む）

- (1) 人的被害（死者 6 名）
 - 岩手県 死者 2 名（地震で飛び出しトラックに轢かれた、ダムの落石）、重傷 6 名、軽傷 13 名（警察庁 19:00）
 - 宮城県 死者 3 名（湯浜温泉の土砂崩れによる車両転落 1、栗原市花山本沢水無地区の作業員 2）、重傷 19 名、軽傷 92 名（警察庁 19:00）
 - 秋田県 重傷 3 名、軽傷 10 名（警察庁 19:00）

山形県 軽傷 1 名（警察庁 19:00）

福島県 死者 1 名（土砂崩落）（警察庁 19:00）

※このほか

- ・宮城県駒ノ湯温泉で、建物の一階部分が倒壊し、7 名（宿泊客 2 名、従業員 3 名、経営者の家族 2 名）が生き埋め→宮城県警レンジャー 5 名が現場で捜索活動中。（警察庁 14:59）。自衛隊が救助活動中（防衛省 17:56）。
- ・宮城県栗原市の花山本沢水無地区において、作業員 1 名行方不明。生き埋めの可能性大→日没のため、本日の活動終了（消防庁 20:15）
- ・宮城県栗原市花山で土砂災害で車 1 台埋もれている（消防庁 11:04）
→女性 1 名救出済（軽傷）、男性 1 名救助済（けが無し）。（消防庁 17:00）
- ・仙台空港でバスの乗客がけが（重傷 5 名、軽傷 18 名）（消防庁 11:30）
- ・岩手県 R397 においてマイクロバス 1 台（20 名乗り）が斜面を 30m ほど落下、重傷 6 名、軽傷 4 名を自衛隊ヘリで搬送。救助完了（防衛省 16:15）。
- ・湯浜温泉（湯浜から南 2km）において、車 3 台が流出、谷底に転落→男女 2 名救出、1 名死亡確認（再掲）、残る 1 台は水位上昇のため作業打ち切り（警察庁 19:00）

（孤立情報）

- ・岩手県一関市祭時（マツルベ）付近で孤立状態（消防庁 10:55）→付近の健康の森に避難した住民をヘリ（自衛隊、海保、消防）で 98 名救出完了（消防庁 19:33）
- ・祭時（マツルベ）地区付近の市野原地区内の公民館に 66 名が孤立→30 名救出済（消防庁 18:45）
- ・岩手県一関市須川温泉で従業員・客 100 名程度孤立（消防庁 11:50）
→自力で秋田県側へ避難した（消防庁 17:15）
- ・岩手県一関市若井原地区で 36 名孤立→現在ヘリにて救出作業中（消防庁 18:45）
- ・R342 号矢櫃（ヤビツ）ダム周辺で、祭時（マツルベ）大橋の損傷により 19 名孤立、
→搬送完了（警察庁 18:15）
- ・祭時大橋の東側で 38 名が集結→ヘリ救出完了（警察庁 19:35）
- ・R342 号烏帽子山付近にて孤立→45 名救出完了（消防庁 18:45）
- ・宮城県栗原市いわかがみ平登山口で 60 名孤立をヘリが発見、隊員 1 名を現地へおろして花巻空港へ帰投。給油後、再度現場に向かう（消防庁 11:40）
→自衛隊ヘリ 1 機により救助中（防衛省 15:45）
- ・花山湖北 10km で 3 名が救助要請→自衛隊ヘリで救出完了（防衛省 18:20）
- ・温泉・プール施設「ハイルザーム栗駒」（宮城県栗駒温泉付近）に約 100 名が孤立→ヘリ 4 機にて対応・81 名救助、本日の救助活動は終了（海上保安庁 20:20）
- ・温湯（ぬるゆ）（宮城県栗原市）で約 100 名が孤立→自衛隊ヘリ 5 機で搬送中（防衛省 19:00）

（避難情報）

- ・岩手県 一関市巖美地区内の施設「健康の森」、「本寺小学校体育館」に 78 名避難
- ・宮城県 栗駒地区 50 名、築館地区 24 名、花山地区 100 名が避難

（消防庁 17:05）

(2) 建築物被害

- ・岩手県 半壊1戸 (警察庁 14:40)
- ・宮城県 一部破損5戸 (消防庁 13:40)
- ・山形県 一部損壊2戸 (警察庁 14:40)
- ・火災 宮城県仙台市1件
岩手県金ヶ崎町2件 (消防庁 09:45)

(3) 交通遮断状況

(鉄道)

- ・東北新幹線(仙台～八戸)・秋田新幹線(盛岡～秋田)運転見合わせ(国土交通省 13:00)
- ・仙台～古川、一関～水沢江刺間で、はやて・こまち1号、やまびこ46号など新幹線計3本が停止→18:07 旅客の救済完了

(国土交通省 20:10)

(道路)

- ・岩手県 道路損壊6ヶ所、狭量損壊2ヶ所 (警察庁 14:40)
- ・秋田県 道路損壊1ヶ所 (警察庁 14:40)
- ・岩手県R342で崩落多数、崩落箇所の上に車(約19名)孤立→無事確認(警察庁 12:30)
- ・落橋(国道342号の「まつるべ大橋」、岩手県一関市巖美町)

(海上航路)

- ・航路標識の被害状況なし(海上保安庁 14:40)

(4) ライフライン等の状況

- ・原発：女川1～3号機、東通、福島第一1～6号機、福島第二1～4号機 現在までの所異常が確認されていない (経済産業省 13:00)
- ・福島第二4号機使用済燃料プールで合計4リットルの水の飛散。プラント共用のサイトバンカ建屋で合計15リットルの水の飛散あり。サイトバンカ建屋2階のピットの底部内に水溜まり約1リットル。2号機原子炉建屋4階東側通路空調ダクトの下に水溜まり約9リットル。なお、両施設からの外部への漏洩は確認されず。(経済産業省 16:00)
- ・停電：1402戸 (原子力安全・保安院 17:00)
岩手県奥州市 28戸
宮城県栗原市 1374戸
- ・岩手県で水道管破裂1箇所 (警察庁 09:30)
- ・断水：(厚生労働省 18:00)
岩手県 741戸
宮城県 2809戸
- ・宮城県内で一部電話不通(95加入電話)、岩手県・宮城県方面の通信規制解除(総務省 17:00)
- ・宮城県内で携帯電話基地局(2社4基地局)が停波中(総務省 19:00)

3. 政府の主な対応

- ・ 〇 8 : 5 0 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- ・ 〇 8 : 5 0 総理指示 被災状況の早期把握と迅速な広報及び被災者等ある場合、救助に全力を挙げること

(緊急参集于一人確認事項)

1. 岩手県内陸南部を震源とする地震について、県や市町村と一体となって、被害状況を早急に確認し、速やかな救出・救助活動に全力を尽くす。
2. 広域に及ぶ被害が確認された場合には、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣による被災地への広域応援を行い、必要に応じ増援し、被害の状況に応じて万全の体制を期する。
3. 引き続き、県や市町村との的確な連携を図りながら、政府一体となって適切に対応する。

- ・ 11 : 38 政府調査団（団長：防災担当大臣）出発

13 : 35 現地着

派遣場所 岩手県一関市、宮城県栗原市

- ・ 15 : 20 総理指示

現地では、孤立されている方々や、行方不明になっている方々がまだまだいる可能性がある。

現在でも救出が進みつつあるが、日没が迫っている。今後さらに、警察、自衛隊、国交省などのヘリを効果的に運用して、可能な限り状況把握に努め、救出活動に全力を挙げてもらいたい。

- ・ 16 : 30 政府の現地連絡対策室設置（宮城県栗原市役所内）

- ・政府調査団、団長以下１９名は現地に滞在。他の要員は１８：３４現地から市ヶ谷に向けて離陸、２０：３０市ヶ谷着陸

- ・一関市、栗原市に災害救助法を適用（厚生労働省 19:00）

- ・ 18 : 50 総理指示

- ① 救助活動及び被害の確認作業について、夜間においても引き続き全力で実施せよ。

- ② 被災者の避難・救援にも万全を期せ。

- ・ 20:00災害対策関係省庁連絡会議 開催

4. 各省庁の活動状況

(対応勢力) 警察庁 270人、ヘリ 6機 被災地外からの出動 (18:50)

消防庁 786人、ヘリ13機 被災地外からの出動 (18:30)

防衛省 のべ約360人、車両約90両、航空機23機 (17:30)

海上保安庁 巡視船25隻(395人)、航空機11機(55人)、特殊救難隊
1隊(5人) (18:40)

(情報収集活動等)

- ・ 陸自ヘリ 5 機、偵察隊、海自固定翼機 2 機、ヘリ 2 機、空自固定翼機 3 機で偵察活動を実施中 (防衛省 10:40)
- ・ 海保 船艇 25 隻、航空機 11 機による沿岸部被害状況調査の結果、沿岸部に被害を認めず (海上保安庁 14:20)

(広域応援等)

(1) 緊急消防援助隊 (消防庁)

緊急消防援助隊 陸上部隊 184 部隊、航空部隊 13 機出動 総計 786 人

(消防庁 18:30)

(2) 広域緊急援助隊 (警察庁)

- ・ 広域緊急援助隊 (福島県警、埼玉県警、警視庁、山形県警、青森県警、新潟県警、茨城県警、栃木県警、群馬県警、千葉県警、神奈川県警、山梨県警、長野県警、静岡県警の計 270 名が出発) が岩手県、宮城県に向け出発 (警察庁 17:30)
- ・ 警察ヘリ 6 機 (警視庁 3 機、青森県警 1 機、千葉県警 1 機、神奈川県警 1 機)
- ・ 警察機動通信隊を派遣 (福島、青森、茨城、関東管区)

(3) 災害派遣 (防衛省)

- ・ 10:50 岩手県知事より第 9 特科連隊長に災害派遣要請
- ・ 11:00 宮城県知事より第 6 師団長に災害派遣要請

(活動中の部隊)

陸自 2 個ヘリ部隊、2 個偵察隊、2 個連隊、1 個大隊、1 個施設団

海自 3 個航空群、1 個教育航空隊

空自 2 個航空団、2 個救難隊

(4) 特殊救難隊等 (海上保安庁 15:25)

- ・ 特殊救難隊 1 隊、機動防除隊 1 隊派遣
(ヘリ計 4 機派遣)

(5) DMAT (厚生労働省 19:00)

- ・ DMAT (災害派遣医療チーム) 36 チームを派遣、現地にて 27 チームが活動中
- ・ 千葉県ドクターヘリが被災地にて活動中
- ・ 福島県ドクターヘリが被災地にて活動中

(6) 緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) (国土交通省)

- ・ 14:10 本省から現地に向け 19 名出発
- ・ 応急対策班 (無人化施行機械) 派遣済み (国土交通省 14:55)
- その他 8 名はヘリにより出発済み

5. その他

08:43 宮城県・岩手県・秋田県災害対策本部設置 (消防庁 10:20)